

星製薬製品の不賣を 天下に聲明す

我が關東勞働組合會議は、星製薬株式会社製品の不賣盟を發行することを決議し、此處に天下に聲明するものである。

七月二十三日降下崎町、星製薬株式会社に於ては、星製薬不賣の旨の下に、突如従業員八百三十二名を總員六百二十四日所屬關東勞働組合會議をもちに提案し

該聯合會の爭議として取扱ふ旨を演説し、二十七日參事條の要求書「會社側に提案した。爾來交渉を重んじたる事暫く、八月三日、交渉委員五名は社社長一氏に會見し、その回

答を退つた處、理髮なる故に「空箱不賣」とも會つて行ける」との一言の下に要求條件の悉くを拒絶した。

星製薬株式会社、人も知る如く、温情主義の徹底せる會社であつて、老婦なる星一外交的手段は兎もかも一時「星王國」とさへ謳はれたが、その裏面にひそむ彼ら人は既に臺灣阿片事件の一事に依つても、知ることの出来るものであろう。而かも會社は「親切第

二」の看板を掲げ、常に従業員を養つて演説して曰く「星の公は絶対に難産者を出しません」今年の秋には世界一の賞を上げたいと思ふなど、か弱く女工連を囁きし、甚だしきは常連工黨様の眼裏を透らせて來たのである。かくて今日の大を成せる星製薬は、

檢査にも何等の豫告なく此度の大體骨を行つたのである、然るに今や拾圓足半の派金を以て街頭へ投げ出された八百四十名の兄弟連の窮状は言に絶し、實に悲惨の極に達して

ゐる。一方、現従業員に對しては「もう絶対に解雇しません」「安心して働け」と同一手段を以つて第六、しかも第三二班の職首を斬行せんとする噂さへも傳へられてゐる。

こゝに於て我が關東勞働組合會議は、星製薬株式会社製品の製品は「品たりとも買はざること」を決議し、關東地方に於ける勞働組合員は完全なる星製薬のマイコントを實行し、理

髮なる星製薬株式会社の商品を買はざんとするものである。

關東勞働組合會議

加盟 『都下全勞働組合』

大正十四年八月十日

星の製品は一品たりとも買ふまい
勞働者階級の威力を示せ
星製薬の反省を促がす